授業科目名	ブータン学	単位数	1
担当教員名	糸永　正之	担当形態	単独
実務内容 （実務家教員の場合）			

「学位授与の方針」との関係
共感理解教育の理念を認識し、実践すること。

授業の到達目標及びテーマ
（１）ブータンの過去と現在を検証する。
（２）（１）により、私たちが行くべき未来の道を探るための三角測量を試みる。

授業の概要
かつてブータンに滞在して国王の家庭教師をつとめたこともある、英国オックスフォード大学のマイケル・アリス博士（１９４６-１９９９）によれば、大ヒマラヤ山脈東部の南側斜面に位置する現在のブータン地方に、人が定住し始めた時期は、紀元前２０００年頃までに遡るという。
ちなみに、ノーベル平和賞を受賞したミャンマーのアウンサウンスーチー女史（１９４５）の伴侶は、アリス博士であった。
そんなブータンは、優に４０００年を超える歳月をかけて人が丹念に耕した、ヒマラヤ咲いた可憐な花のようでもある。甘い芳香を放つ美しい花に、蜜蜂が集まるように、今ではブータンに興味の眼差しを向ける人たちも増えた。
とはいえ、世界から吹き付ける時代の風は、ヒマラヤの花も容赦しない。もともとブータンにおける化石燃料の自給率はゼロ％だが、１９７１年に国連に加盟してから今日までの間に、食糧の自給率は６０％近くにまで低下し、自殺や凶悪犯罪の発生件数も増加傾向にある。形あるものに光が当たれば、その反対側には影が出る。光を当てて影の出ないものは幻である。
ＧＮＨを唱えるブータンの過去と現在を検証しながら、私たちが行くべき未来への道を探るための三角測量を試みたい。

授業計画
第１回：ブータンの歴史①古代史
第２回：ブータンの歴史②ブータンとイギリス
第３回：ブータンの歴史③ブータンとチベット
第４回：ブータンの歴史④ブータン王国誕生
第５回：ブータンの歴史⑤近代国家への道
第６回：ブータンの文化・慣習
第７回：ブータンの生活・風俗
第８回：ブータンの政治・経済
第９回：ブータンと日本の関わり
第１０回：ブータンと日本人－東郷茂徳（ブータンと日本の架け橋）
第１１回：ブータンと日本人－中尾佐助（ヒマラヤと照葉樹林文化～宮崎アニメの原点）
第１２回：ブータンと日本人－東郷文彦（東郷茂徳、中尾佐助の後継者）
第１３回：ブータンと日本人－西岡京治（農業指導・開発）

第１４回：ＧＮＨとは～メディアリテラシー 第１５回：まとめ 定期試験
スクーリングでの学修内容 全てスクーリングで行う科目なので、第１回～第１５回を全てスクーリングで行い、ＧＮＨを唱えるブータンの過去と現在を検証しながら、本当の意味での「幸福」とは何かを解説する。
教科書 　中尾 佐助（2020　改版）『栽培植物と農耕の起源』岩波書店
参考文献 ・上山春平[編]「照葉樹林文化ー日本文化の深層」中公新書 ・上山春平/佐々木高明/中尾佐助[著]「続・照葉樹林文化ー東アジア文化の源流」中公新書 ・松田権六[著]「うるしの話」岩波文庫 ・廣野卓[著]「食の万葉集」中公新書 ・川本晧嗣[著]「日本詩歌ーその骨組みと素肌」岩波書店
学生に対する評価 スクーリング（５０％)、科目修得試験（５０％）の割合で総合的に評価する。